

# 裏路地探険

但馬五社・小田井縣神社と柳之宮神社  
職人の粋な意匠が目を引き復興建築群  
豊岡の地場産業の歴史を辿る通り

但馬五社の一社、靈驗あらたかな  
古社として知られる豊岡市街地に鎮座する「小田井縣神社」。毎年8月1日から2日にかけて行われる但馬三大祭りの一つ「豊岡柳まつり」は、当社境内に鎮座する「柳之宮」の例大祭である。

祭りは、小田井縣神社の移築に伴って再建されたのを機に、京都の祇園祭や大阪の天神祭などを参考に、昭和10年に始まった。地場産業である豊岡靴細工が繁栄してきたことに感謝し、靴産業の発展を祈願して、80年以上に渡って盛大に開催されている。

江戸時代、豊岡藩主の奨励のもと、円山川の湿地帯にコリヤナギを栽培、その製品は「豊岡の柳行李」として全国に知れ渡った。  
明治時代以降、生活様式の変化とともに、柳行李からファイバー靴、



小田井縣神社は式内神社で、国作大己貴(くにつくりおおなむち)命を祭神に祀っている。昭和になってから、円山川改修工事で移転や境内の改築が行われ、現在に至っている。



小田井縣神社の参道だった旧街道は柳行李の商店で賑わい、昭和10年、その繁栄に感謝して「柳之宮」が再建された。社には柳行李が奉納されている。



平成24年3月末に閉館したが、2年後に奇跡の復活を遂げた「CINEMA ACTION 豊岡 - 豊岡劇場」。再開後は映画上映だけでなく、映画館を利用した新しい「場」として生まれ変わった。イベントホールその他、ロビーにはCAFE & BARも開設。人が集える出会いの空間、コミュニティ拠点として、地域に欠かせない場所となっている。

塩化ビニール靴などに変化していったが、現在では優れた製品をブランド化し、「豊岡の靴」として全国に展開している。  
神社の南側に位置する旧道沿いには、かつて柳行李に関する商店などが建ち並んでいた。今でも当時を思わせる商店が残っている。  
中でも、緑青の味わいが見事な銅板張りの建物が、ひと際目を引く。近くでよく見ると、きめ細やかな細工が随所に施され、趣のある佇まいを見せる。

「私は勝手に神戸ならぬ『豊岡のうろこの家』と呼んでいます。大正14年に起きた北但大震災の後、震災に強いまちを目指し、官公庁を始め、一般住宅にも鉄筋

## URAROJI TANKEN



● 裏路地探険参加募集  
平成29年4月21日(土)  
10:00~12:00  
「日本一美しい村を歩く」  
香美町小代区  
\* 実施日の10日前までに、18ページ掲載の「T2」編集部まで、住所・氏名・年齢・電話番号・「裏路地参加希望」とお書きの上、ハガキで申し込みください。申込締切後、参加ご希望の方へ郵送にて案内を送付します。

見の連続であった。  
も、少し目線を変えれば、新しい発見の連続であった。